

令和5年度長久手市協働まちづくり活動補助金 補助事業ふりかえりシート

団体名 愛知淑徳大学まちづくり研究会

事業名 地域をつなぐコモンズづくり

※ 事業の中で複数の活動をした場合は、①、②のように番号を振り全ての活動について記入してください。

1 事業の実施結果（対象者、事業内容、参加人数など）

- ① 第一回ワークショップ：丁子田地区の住民を対象として、当地区でやりたいことや困っていることについて意見を出していただき、それを実現できそうな場所を検討していただいた。参加者は12名。
- ② 第二回ワークショップ：第一回を基に学生達が検討した、2箇所のコモンズの案について意見を募り、案の最終決定を行った。参加者は11名。
- ③ 施工：決定した2箇所のコモンズの施工を行った。
 - ・丁子田集会所：ベンチの作成、縁側の作成、掲示板のマグネットシートへの張替え及びアクリル板の取り付け、内装の一部変更。
 - ・中西さん宅：机の作成、椅子の作成、ベンチの作成、カウンターの作成、内装の変更。

2 事業の成果（事業によって解決できたこと、参加者の反応、市と協働してよかったことなど）

- ① 第一回ワークショップ：住民の方々の「誰かと話をする場所がほしい」「学生と交流をしたい」などの想いを知ることができ、コモンズづくりに活かすことができた。また、市と協働したことで多くの方が参加し、貴重な意見を沢山いただくことができた。参加者の方々はワークショップに積極的に参加していただき、活気あふれるワークショップになった。
- ② 第二回ワークショップ：第一回よりも具体的に住民の方々の望むコモンズを知ることができ、最終的な案の決定に至ることができた。住民の方々は、楽しんで話し合いをしており、また、コモンズができることを心待ちにしていた。
- ③ 施工：実際に皆の居場所となるコモンズをつくることができた。

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。

3 問題・課題（補助事業を通して気付いた点、課題など）

- ①② ワークショップ：参加してくださった方のほとんどは地域活動に積極的な人であり、消極的な人の意見を聴くことができなかった。また、地域でつながりをもたない人が一定数いることが課題に感じた。
- ③ 施工：コモンズの保全をする必要があると思った。

4 新たな展開（今後の目標、新たに取り組みたいことなど）

- ①② ワークショップ：出来上がったコモンズの運営に関わることで、利用者を増やしていけるようにしたい。最終的には、地域全体や他地域ともつながりができることが目標である。
- ③ 施工：定期的にコモンズの様子を見に行ったり、塗料の塗りなおし作業を行ったりすることで、より長くコモンズを使い続けてもらえるようにしたい。

5 補助事業の写真（補助事業の様子が分かるものを添付してください。）



（写真1の説明）左はワークショップをしている様子。右はアイスブレイクをしている様子。



（写真2の説明）左は集会所の施工の様子。右は中西さん宅の掃除の様子。

ふりかえりシートは、A4用紙2ページ以内で記入すること。